

## 平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年7月27日

上場会社名 宝ホールディングス株式会社  
 コード番号 2531 URL <http://www.takara.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柿本 敏男  
 問合せ先責任者 (役職名) IR部長 (氏名) 掛見 卓也  
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月8日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 075-241-5124

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	63,368	21.1	2,074	27.3	2,247	12.4	1,163	7.3
29年3月期第1四半期	52,311	2.7	1,630	151.0	1,998	88.3	1,084	63.7

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 171百万円 ( %) 29年3月期第1四半期 3,242百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	5.78	
29年3月期第1四半期	5.39	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	280,443	163,099	47.5
29年3月期	274,368	165,920	49.2

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 133,088百万円 29年3月期 135,043百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期				13.00	13.00
30年3月期					
30年3月期(予想)				14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	125,000	16.3	4,700	9.7	4,700	16.3	2,400	24.5	11.93
通期	268,000	14.4	14,000	3.3	14,400	0.4	8,500	0.2	42.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 2 社 (社名) WaferGen Bio-systems, Inc.、Rubicon Genomics, Inc.、除外 1 社 (社名) Rubicon Genomics, Inc.

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	217,699,743 株	29年3月期	217,699,743 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	16,475,746 株	29年3月期	16,475,731 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	201,224,001 株	29年3月期1Q	201,224,342 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(セグメント情報)	8

## ○ 第1四半期決算短信補足資料

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景に緩やかな回復基調が継続しているものの、個人消費は力強さに欠ける状況が続いております。

一方、海外においては、新興国経済の不確実性や、英国のEU離脱問題、米国の今後の政策の影響など、世界経済は依然として先行きが不透明な状況です。

このような経済状況のもと、当社グループは、当連結会計年度より、長期経営ビジョン「宝グループ・ビジョン2020」の達成に向けた最終ステップとしての「宝グループ中期経営計画2019」をスタートし、海外売上高比率をさらに高めるとともに、国内外で抜け・モレのない商品と競争優位性をもった商品を多数持つことで、他社に勝てる分野を数多く築き上げ、どんな環境変化が起ころうとも収益を大きく伸ばさせることができるバランスのとれた事業基盤を確立することを目指し、着実な事業活動に努めました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高63,368百万円（前年同期比121.1%）、売上総利益24,662百万円（前年同期比117.9%）、営業利益2,074百万円（前年同期比127.3%）、経常利益2,247百万円（前年同期比112.4%）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,163百万円（前年同期比107.3%）となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

なお、平成29年7月3日付で宝酒造株式会社の海外事業を分社化し、宝酒造インターナショナル株式会社を設立したことに伴い、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

## [宝酒造]

当第1四半期連結累計期間の売上高は、酒類では、焼酎は前年同期並みとなりましたが、“松竹梅「天」”が好調でありました清酒や、引き続き“タカラ「焼酎ハイボール」”が好調に推移しましたソフトアルコール飲料は増加いたしましたので、酒類全体の売上高は増加いたしました。

調味料はみりんや料理清酒の好調により増加し、原料用アルコール等も増加いたしました。

以上の結果、宝酒造の売上高は、36,029百万円（前年同期比105.2%）となりました。売上原価は、21,665百万円（前年同期比104.2%）となりましたので、売上総利益は、14,363百万円（前年同期比106.9%）となりました。販売費及び一般管理費は、販売促進費や運送費などの増加により14,212百万円（前年同期比105.1%）となりましたので、営業利益は、151百万円（前年同期は85百万円の営業損失）となりました。

## [宝酒造インターナショナルグループ]

当第1四半期連結累計期間の売上高は、前第3四半期連結会計期間末に連結子会社としましたMutual Trading Co., Inc.（米国）などの売上高が寄与し、海外日本食材卸が増加いたしましたので、16,450百万円（前年同期比221.3%）となりました。売上原価は、11,683百万円（前年同期比234.2%）となりましたので、売上総利益は、4,767百万円（前年同期比195.1%）となりました。販売費及び一般管理費は、人件費などが増加いたしましたので3,807百万円（前年同期比207.2%）となりましたので、営業利益は、960百万円（前年同期比158.4%）となりました。

## [タカラバイオグループ]

当第1四半期連結累計期間の売上高は、主力の研究用試薬が円高の影響により前年同期を下回りましたが、受託サービスが前年同期を大きく上回り、ほぼ前年同期並みの6,355百万円（前年同期比100.8%）となりました。売上原価は、品目別の売上構成の変化等により原価率が低下し、2,245百万円（前年同期比92.0%）となりましたので、売上総利益は、4,109百万円（前年同期比106.3%）となりました。販売費及び一般管理費は、研究開発費や人件費などが増加し、3,846百万円（前年同期比119.4%）となりましたので、営業利益は、262百万円（前年同期比40.8%）となりました。

## [その他]

当第1四半期連結累計期間の売上高は、物流事業など総じて好調でありましたので、9,634百万円（前年同期比105.6%）となりました。売上原価は、8,000百万円（前年同期比102.6%）となりましたので、売上総利益は、1,634百万円（前年同期比123.6%）となりました。販売費及び一般管理費は、880百万円（前年同期比97.5%）となりましたので、営業利益は753百万円（前年同期比179.6%）となりました。

## 品種別販売実績

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	前年 同期比
品種	金額(百万円)	金額(百万円)	(%)
宝酒造			
焼酎	13,987	14,089	100.7
清酒	3,888	4,214	108.4
ソフトアルコール飲料	7,364	8,469	115.0
その他酒類	1,722	1,641	95.3
酒類計	26,963	28,415	105.4
本みりん	3,327	3,359	101.0
その他調味料	2,175	2,306	106.0
調味料計	5,502	5,666	103.0
原料用アルコール等	1,769	1,947	110.1
計	34,235	36,029	105.2
宝酒造インターナショナルグループ			
海外酒類	2,264	2,340	103.4
海外日本食材卸	5,311	14,516	273.3
グループ内連結消去	△142	△406	—
計	7,432	16,450	221.3
タカラバイオグループ	6,306	6,355	100.8
報告セグメント計	47,974	58,835	122.6
その他	9,121	9,634	105.6
セグメント計	57,095	68,470	119.9
事業セグメントに配分していない 収益およびセグメント間取引消去	△4,784	△5,101	—
合計	52,311	63,368	121.1

(注) 販売金額には酒税を含んでおりますが、消費税等は含まれておりません。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は166,758百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,153百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が15,749百万円減少し、有価証券が6,333百万円増加したことによるものであります。

固定資産は113,684百万円となり、前連結会計年度末に比べ13,228百万円増加いたしました。これは主に、無形固定資産が12,451百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、280,443百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,074百万円増加いたしました。

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は58,804百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,701百万円減少いたしました。これは主に、1年内償還予定の社債が5,000百万円、未払法人税等が1,037百万円それぞれ減少したことによるものであります。固定負債は58,539百万円となり、前連結会計年度末に比べ15,597百万円増加いたしました。これは主に、社債が15,514百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、117,344百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,896百万円増加いたしました。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は163,099百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,821百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金が1,452百万円、為替換算調整勘定が1,716百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は47.5%（前連結会計年度末は49.2%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の連結業績は、期初の計画を上回って進捗しております。しかしながら、当社グループの第1四半期利益の年間利益に占める割合が比較的低いことなどから、平成29年5月9日に公表した平成30年3月期の連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間、通期ともに見直しを行っておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	58,073	42,324
受取手形及び売掛金	57,951	57,682
有価証券	13,237	19,571
商品及び製品	35,300	36,202
仕掛品	1,244	1,399
原材料及び貯蔵品	3,306	3,428
その他	5,035	6,418
貸倒引当金	△236	△266
流動資産合計	173,912	166,758
固定資産		
有形固定資産	59,174	58,685
無形固定資産		
のれん	6,626	13,902
その他	3,630	8,805
無形固定資産合計	10,256	22,707
投資その他の資産		
投資有価証券	25,583	27,017
その他	5,533	5,364
貸倒引当金	△90	△90
投資その他の資産合計	31,025	32,291
固定資産合計	100,456	113,684
資産合計	274,368	280,443
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,804	16,258
短期借入金	9,206	9,084
1年内償還予定の社債	10,000	5,000
未払酒税	7,593	7,568
未払費用	5,562	4,629
未払法人税等	2,468	1,431
賞与引当金	2,449	3,540
その他の引当金	2,002	2,483
その他	9,418	8,807
流動負債合計	65,506	58,804
固定負債		
社債	10,000	25,514
長期借入金	10,996	10,940
退職給付に係る負債	8,961	8,911
長期預り金	5,342	5,324
その他	7,640	7,847
固定負債合計	42,941	58,539
負債合計	108,447	117,344

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	13,226	13,226
資本剰余金	1,650	1,803
利益剰余金	119,729	118,277
自己株式	△9,939	△9,939
株主資本合計	124,667	123,367
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,583	10,515
繰延ヘッジ損益	0	121
為替換算調整勘定	1,426	△290
退職給付に係る調整累計額	△634	△625
その他の包括利益累計額合計	10,375	9,720
非支配株主持分	30,877	30,010
純資産合計	165,920	163,099
負債純資産合計	274,368	280,443

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	52,311	63,368
売上原価	31,391	38,705
売上総利益	20,919	24,662
販売費及び一般管理費	19,289	22,588
営業利益	1,630	2,074
営業外収益		
受取配当金	232	268
その他	310	237
営業外収益合計	542	505
営業外費用		
支払利息	107	173
社債発行費	—	112
その他	67	47
営業外費用合計	174	333
経常利益	1,998	2,247
特別利益		
固定資産売却益	6	6
その他	0	—
特別利益合計	7	6
特別損失		
固定資産除売却損	14	33
その他	1	—
特別損失合計	16	33
税金等調整前四半期純利益	1,989	2,220
法人税、住民税及び事業税	1,234	1,364
法人税等調整額	△463	△442
法人税等合計	770	922
四半期純利益	1,218	1,297
非支配株主に帰属する四半期純利益	134	134
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,084	1,163



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	1,218	1,297
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△273	931
繰延ヘッジ損益	△505	122
為替換算調整勘定	△3,485	△2,195
退職給付に係る調整額	△2	15
持分法適用会社に対する持分相当額	△193	—
その他の包括利益合計	△4,461	△1,126
四半期包括利益	△3,242	171
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,800	508
非支配株主に係る四半期包括利益	△441	△337

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第1四半期連結会計期間において、タカラバイオ株式会社の100%子会社であるTakara Bio USA Holdings Inc.がWaferGen Bio-systems, Inc.の株式を取得したことにより、同社ならびに同社の子会社であるWaferGen BioSystems Europe S.a.r.l.およびWaferGen, Inc.を連結の範囲に含めております。なお、このうちWaferGen Bio-systems, Inc.は、当社の特定子会社に該当いたします。

また、当第1四半期連結会計期間において、Rubicon Genomics, Inc.の株式を取得したことにより、同社を当社の特定子会社として連結の範囲に含めましたが、当第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であるTakara Bio USA, Inc.を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

&lt;変更後の区分方法により作成した前第1四半期連結累計期間の情報を記載&gt;

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	宝酒造	宝酒造イ ンターナ ショナル グループ	タカラバ イオグル ープ	計				
売上高								
外部顧客への売上高	34,226	7,312	6,077	47,617	4,694	52,311	0	52,311
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9	120	228	357	4,427	4,784	△4,784	—
計	34,235	7,432	6,306	47,974	9,121	57,095	△4,784	52,311
セグメント利益又は損 失(△)	△85	606	643	1,164	419	1,583	46	1,630

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社の不動産賃貸事業及び国内グループ会社の物流事業等であります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高は、当社において計上した業務受託収入であります。

(2) セグメント利益又は損失(△)は、セグメント間取引消去61百万円、事業セグメントに配分していない当社の損益△15百万円であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	宝酒造	宝酒造イ ンターナ ショナル グループ	タカラバ イオグル ープ	計				
売上高								
外部顧客への売上高	36,018	16,354	6,175	58,547	4,820	63,368	0	63,368
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10	96	180	287	4,814	5,101	△5,101	—
計	36,029	16,450	6,355	58,835	9,634	68,470	△5,101	63,368
セグメント利益	151	960	262	1,374	753	2,128	△53	2,074

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社の不動産賃貸事業及び国内グループ会社の物流事業等であります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高は、当社において計上した業務受託収入であります。

(2) セグメント利益は、セグメント間取引消去24百万円、事業セグメントに配分していない当社の損益△77百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

平成29年7月3日付で当社の連結子会社である宝酒造株式会社の海外事業を分社化し、宝酒造インターナショナル株式会社を設立したことに伴い、当第1四半期連結会計期間より「宝酒造」「宝酒造インターナショナルグループ」及び「タカラバイオグループ」に報告セグメントを変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「タカラバイオグループ」セグメントにおいて、タカラバイオ株式会社の100%子会社であるTakara Bio USA Holdings Inc. がWaferGen Bio-systems, Inc. およびRubicon Genomics, Inc. の株式を取得したことにより、のれんを計上しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては7,709百万円であります。なお、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。